

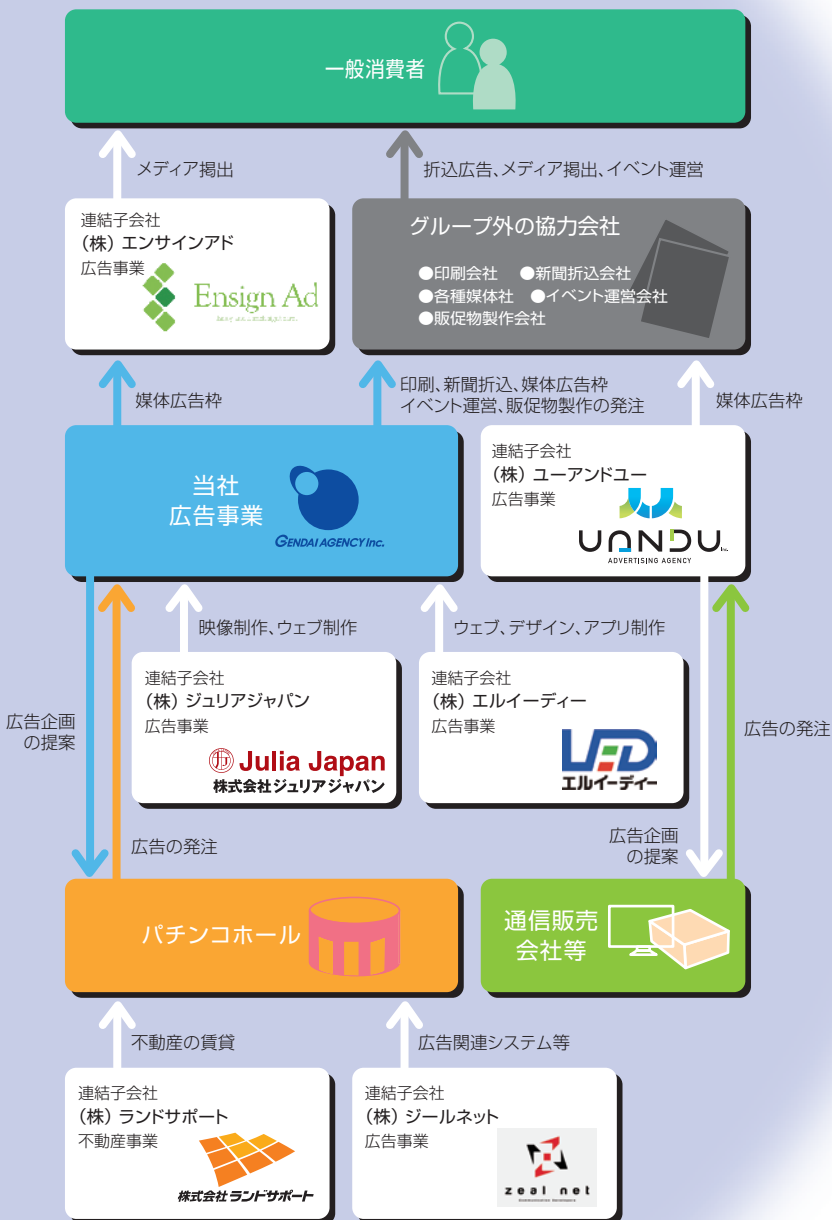
株主通信

2015年3月期

2014年4月1日～2015年3月31日

ゲンダイエージェンシー株式会社

ビジネスモデル



グループ会社の概要

1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告システム等の企画制作

(株) エルイーディー

スマートフォンアプリ等の企画開発など

(株) エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売など

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

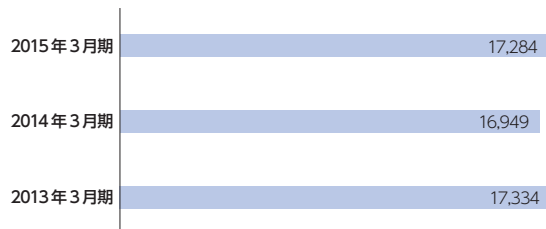
1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。



連結財務ハイライト

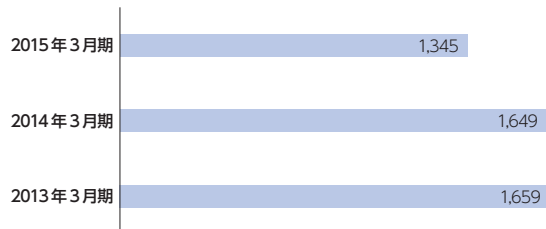
● 売上高

(単位：百万円)



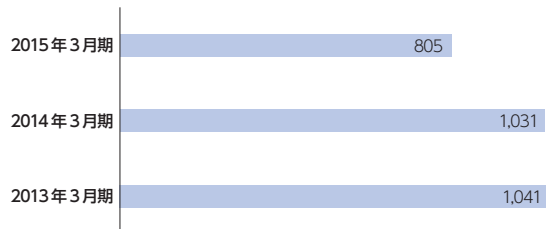
● 経常利益

(単位：百万円)



● 当期純利益

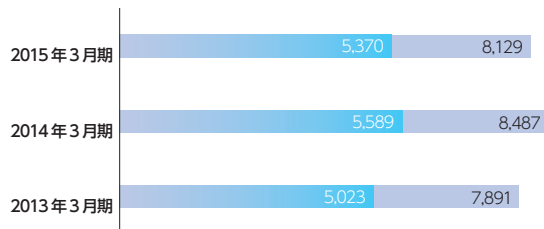
(単位：百万円)



● 総資産額／純資産額

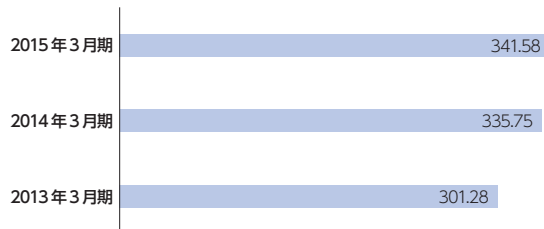
純資産 総資産

(単位：百万円)



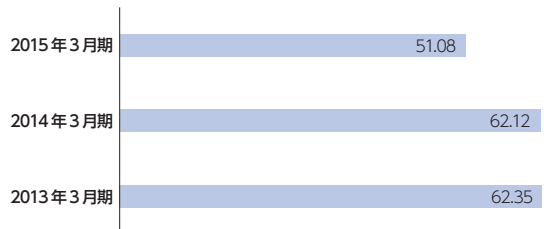
● 1株当たり純資産額

(単位：円)



● 1株当たり当期純利益

(単位：円)



株主の皆様へ



右： 代表取締役 CEO 山本 正卓

左： 代表取締役 COO 上川名 弦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、2015年3月期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、特に輸出企業を中心とした収益の大幅な改善が進んでいるものの、2014年4月以降の消費税増税などの要因により、個人消費については、引き続き伸び悩み状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、特に、2014年の消費税増税以降における個人消費低迷の影響を受け、ユーザーの投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いており、またユーザー数の減少に歯止めがかからないなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

また大手法人を中心とした新規出店においても、建築費の高騰による投資採算などの諸問題から、用地取得からスタートする大規模案件は開店の遅延や新規案件そのものの減少が見受けられます。一方で、既存ホールを居抜で取得し、改装する形態でのオープンが増加傾向にあるものの、全体として新規出店件数は減少の傾向にあります。

こうした環境下で、当社グループでは、主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため、取引顧客店舗数のさらなる増加に向けて取り組むとともに、2014年3月に連結子会社化した、通販業界を主要顧客とする(株)ユーアンドユー（以下、UU社）において、新体制の構築と、新たな営業戦略の立案と実行を進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は17,284百万円（前期比2.0%増）、営業利益は1,300百万円（同20.3%減）、経常利益は1,345百万円（同18.5%減）、当期純利益は805百万円（同21.9%減）となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの年間配当金は30円とし、期末配当金1株当り15円のお支払い開始日は2015年6月22日(月)とさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2015年6月



2015年3月期の各事業概況

広告事業

2015年3月期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、2014年3月期に引き続き、広告規制に伴う需要の減少に加えて、パチンコホール企業における、収益性悪化を要因とする広告費の削減が断続的に続いたことから、全般的に広告需要は大きく低迷する状況にありました。

加えて、例年、特需案件となるパチンコホールのグランドオープン告知需要も、市場における新規出店件数の減少に加え、各告知案件の小型化が進んでいることから、当初予想より低調に推移いたしました。

こうした環境下において、当社は取引顧客のさらなる増加に向けた広告提案活動を強化し、また2015年3月期の課題の一つでもあった、インターネットメディアや屋外広告の取扱比率向上に向けた提案を並行して進めてまいりました。

さらに、デザイン業務の効率化によるコストダウンに向け、連結子会社の(株)ジュリアジャパンにおいてデザイナーを大量採用し、ローコスト体制を構築するとともに、当社の各営業所に配属されたデザイナーの基幹営業所への集約にも着手いたしました。

加えて、クライアント業種の多様化のため、UU社においては、新たな戦略と体制の構築を急ピッチで進めてまいりました。

これらの結果、売上高については、2014年3月期末に新規連結したUU社の売上高1,043百万円が寄与した結果、パチンコホール広告の受注減少を補えたことから、17,138百万円(前期比2.2%増)となりました。しかしながら、主としてパチンコホール広告の売上高減少に伴うマージンの大幅な減少や、のれんの償却の影響により、セグメント利益は1,678百万円(同15.1%減)となりました。

不動産事業

2015年3月期連結累計期間においては、連結子会社の(株)ランドサポート(以下、LS社)では、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、売買・賃貸仲介案件(仲介手数料売上合計2百万円)を成約しました。

その結果、不動産事業の売上高は145百万円(前期比22.1%減)、セグメント利益は60百万円(同10.8%減)となりました。

当社グループは、パチンコホール広告市場におけるマーケットリーダーとして、その強みであるサービスの付加価値と生産性の向上を不断に追求し、さらなるシェアの拡大を目指すとともに、常に新たな事業機会を模索し、積極的な事業開発に取り組むことにより、グループの持続的な成長を実現していきたいと考えております。

持続的な成長を実現するため取り組むべき戦略課題のうち、主なものは以下のとおりです。

① 広告事業におけるシェア拡大と、ローコストオペレーションの推進

広告事業では、持続的な成長を実現すべくさらなるシェア拡大に向けて取り組んでまいります。

- 大都市圏や地方の未開拓エリアに存在する、業界大手法人の新規獲得に向け営業活動を強化し、取扱高のさらなる増加を目指します。
- 適正な利益水準を確保するためのローコストオペレーションは、協力会社との連携や、デザイン工程の改善などを継続的に実施します。

② 広告事業におけるクロスメディア戦略支援機能の強化

パチンコユーザーに特化したエリアマーケティングの充実、地方局を中心としたテレビCMの取扱拡充、ウェブ、モバイル広告などのサービスラインナップの拡充を積極的に推進し、これまで当社が得意としてきた紙媒体広告との複合によるシナジーを生み出し、クライアントの集客戦略を支援してまいります。

③ 事業領域の拡大

広告事業の隣接分野（次世代メディア、異業種広告、アミューズメント関連マーケティングなど）に関する調査・研究を強化し、グループの持続的な成長の実現に向けた事業領域の拡大に取り組んでまいります。また、他業界の有力企業との事業提携によるサービスラインの拡充も積極的に推進してまいります。



目標とする経営指標

当社グループが重要視している経営指標と、その実績は以下のとおりです。引き続き、「生産性」「付加価値」および「資本効率」を重視した経営を推進してまいります。

	目標値	2014年 3月期(実績)	2015年 3月期(実績)
売上高営業利益率 (生産性と付加価値の向上)	10.0% 以上	9.6%	7.5%
ROE(資本効率の向上)	30.0% 以上	19.5%	14.7%

配当政策と2015年3月期の配当について

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、それにより中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

2015年3月期の期末配当金につきましては、上記の基本方針を踏まえて、1株当たり15円とさせていただきました。なお、当期の中間配当金(15円)と合わせた1株あたり年間配当金は30円(連結配当性向58.7%)となります。

2016年3月期は、次の課題に取り組んでまいります。

① パチンコホール広告事業における収益構造の転換

緩やかに続くパチンコユーザー数の減少と、それに伴うパチンコホール広告需要の低迷に対応するため、事業の収益構造を転換していくことが、喫緊の課題と認識しております。

- 自社開発メディアである「パチ7」をはじめとした、インターネットメディアの開発と販売
- 連結子会社の(株)エンサインアドと協力して、魅力的な屋外広告枠を継続的に開発・供給
- 昨今の労働市場の動向に鑑み、パチンコホールでの求人広告への参入に向けた社内体制の構築や、求人系メディア会社との提携などを推進

② パチンコホール以外の異業種クライアントに対する広告営業展開

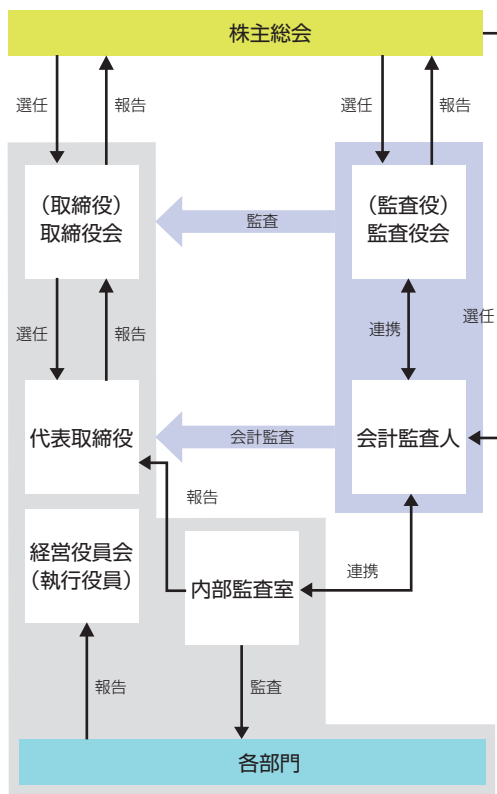
パチンコ広告需要の減少に対応し、顧客基盤の強化を図る目的で、異業種へのアプローチを進めてまいります。これまで当社が培ってきた、紙媒体広告のノウハウを活用し、社内リソースを活用した事業を開発し収益化することで、グループ全体での広告取扱高の増加を目指してまいります。

- 2014年3月に株式を取得し、連結子会社化した(株)ユーアンドユーを起点として、通販会社を主とする新規クライアントを獲得
- 異業種クライアント向けプリンティング事業の事業化を開始
- デザイン受託ビジネスの事業化テストを開始

③ 継続的なコストダウンの推進

- 連結子会社の(株)ジュリアジャパンを活用したクリエイティブ部門の集約、適正配置によるデザイン関連コストの最適化を継続
- コスト削減効果の高いダイレクトメールの印刷と郵送関連費用の見直し

コーポレート・ガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性（コンプライアンス）と透明性（ディスクロージャー）を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上、開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的に開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

CSRへの取り組み

ゲンダイエージェンシー株式会社は、環境、社会的責任、企業ガバナンスに配慮し、持続可能な社会や経済の発展を目指した取り組みの実践に努めてまいります。

環境のために

地球環境の保全に努め、事業活動を通じて社会の発展に貢献します。

●地球と共に

省資源・省エネルギー化のために、オフィス内のペーパーレスの徹底や社用車のエコカー化、クールビズの実践などを行なっております。

社会と共に

数多くのステークホルダーと共に発展できるよう、各種の活動に取り組んでいきます。

●社会と共に

●お客様のために

●お取引先と共に

●従業員と共に

東日本大震災の被災地支援ボランティア活動への参加、世界の子どもにワクチンを送るエコキャップ収集活動への参加、社員の心身の健康を考えたEAPの導入などに取り組んでおります。

企業として

持続的かつ信頼される企業として、さまざまな活動を行なっています。

●コーポレート・ガバナンス

●コンプライアンス

●情報セキュリティ

●リスク管理

社員によるコンプライアンス逸脱の早期発見の仕組みづくりなどに取り組んでおります。

トピックス



▲「パチセブン」トップページ



▲スマホアプリ「パチポイント」QRコード



■ ファン向け パチンコ、パチスロ総合情報サイト 「パチ7(セブン)」好評稼働中

広告事業におけるパチンコホールのクロスメディア戦略支援の1つとして、2014年7月30日にリリースしたファン向けの「パチンコ&パチスロが楽しくなる情報サイト パチ7」が好調に稼働しております。

月間のページビューは200万を超え(Googleアナリティクス調べ)、情報掲載ホール数は2,500店舗を突破しました(2015年4月現在)。折込広告をサイト上に露出するコンテンツ「本日のデカチラシ」や、充実の機種関連情報、人気ライターのコラムに加え、パチ7が独自に運営する会員限定ポイントサービス「パチポイント」がファンからのご好評をいただいています。

直近ではユーザー参加型のCGMコンテンツ*として「コラム」や「Q&A」を展開し、アクティビティの向上を図るとともに、パチ7主催でパチンコホールへの取材企画も展開しており、店舗およびファンへの更なる認知拡大を進めております。

※ CGMとは、Consumer Generated Media (コンシューマー・ジェネレイテッド・メディア)の略称

「パチ7」サイトURL: <http://pachiseven.jp/>

「パチ7」サイトQRコード

■ 松山営業所開設のお知らせ

広告事業の営業エリア拡大を目的として、新たに松山営業所を開設いたしました。2015年4月1日より、四国4県のパチンコホール様を中心に営業活動を行っております。当社初の四国での拠点開設となり、これにより全国20拠点での営業展開となりました。

財務諸表

① 総資産 <

当連結会計年度末における総資産は主に配当や自己株式取得に伴う現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末（2014年3月期）と比較し358百万円減少の8,129百万円となりました。

② 負債合計 <

当連結会計年度末の負債合計は、未払法人税等が84百万円減少したことに加え、借入金（長期含む）が返済により76百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して140百万円減少の2,758百万円となりました。

③ 純資産合計 <

当期純利益805百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式の取得551百万円および利益配当467百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して218百万円減少の5,370百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (2014年3月31日現在)	当連結会計年度 (2015年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,210	5,906
現金及び預金	3,804	3,494
受取手形及び売掛金	2,226	2,105
有価証券	—	100
繰延税金資産	29	22
その他	151	184
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	2,277	2,222
有形固定資産	893	939
無形固定資産	259	321
投資その他の資産	1,124	961
① 資産合計	8,487	8,129
負債の部		
流動負債	2,601	2,249
支払手形及び買掛金	1,289	1,220
短期借入金	600	100
1年内返済予定の長期借入金	156	360
未払法人税等	318	234
その他	238	334
固定負債	296	508
長期借入金	270	490
資産除去債務	16	8
その他	10	10
② 負債合計	2,898	2,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,752	3,538
株主資本合計	5,567	5,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	9
その他の包括利益累計額合計	5	9
少数株主持分	15	8
③ 純資産合計	5,589	5,370
負債純資産合計	8,487	8,129

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日)	当連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)
④ 売上高	16,949	17,284
売上原価	13,007	13,366
売上総利益	3,941	3,918
販売費及び一般管理費	2,310	2,617
営業利益	1,631	1,300
営業外収益	26	55
営業外費用	7	10
④ 経常利益	1,649	1,345
特別利益	10	0
特別損失	—	38
税金等調整前当期純利益	1,659	1,307
法人税、住民税及び事業税	598	502
法人税等調整額	36	3
法人税等合計	635	505
少数株主損益調整前当期純利益	1,024	802
少数株主損失(△)	△ 6	△ 3
④ 当期純利益	1,031	805

④ 売上高・経常利益・当期純利益

主要顧客であるパチンコホール業界では、ユーザー数・新規出店の減少など依然として厳しい経営環境が続いている中、当社グループにおいては主力の広告事業において取引顧客店舗数の更なる増加に取り組むとともに、前期末に連結子会社化した、通販業界を主要顧客とする(株)ユーアンドユーにおいて、新体制の構築と新たな営業戦略の立案と実行を進めてきました。この結果、当連結会計年度の売上高は前年同期と比較して2.0%増加の17,284百万円、経常利益は前年同期比18.5%減少の1,345百万円、そして当期純利益は前年同期比21.9%減少の805百万円となりました。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日)	当連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,024	802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	3
その他の包括利益合計	5	3
包括利益	1,030	805
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	1,037	809
少数株主に係る包括利益	△ 6	△ 3

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益1,307百万円の計上に加えて、減価償却費79百万円をはじめとする非資金費用があった一方、法人税等の支払579百万円などが発生したことなどにより1,027百万円の収入(前年同期は942百万円の収入)となりました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に有形・無形の固定資産取得による支出が合計で257百万円があったことなどにより、266百万円の支出(前年同期は762百万円の支出)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日)	当連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	942	1,027
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 762	△ 266
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 333	△ 1,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 142	△ 302
現金及び現金同等物の期首残高	3,981	3,839
現金及び現金同等物の期末残高	3,839	3,536

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払467百万円に加え、自己株式の取得による支出551百万円があったことなどにより、1,095百万円の支出(前年同期は333百万円の支出)となりました。



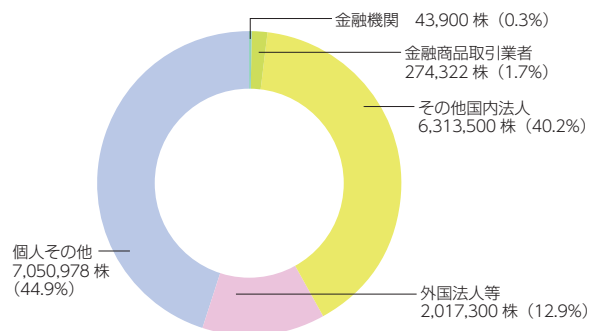
株式の状況

< 2015年3月31日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,700,000株
 株主数 5,597人

所有者別株式分布状況

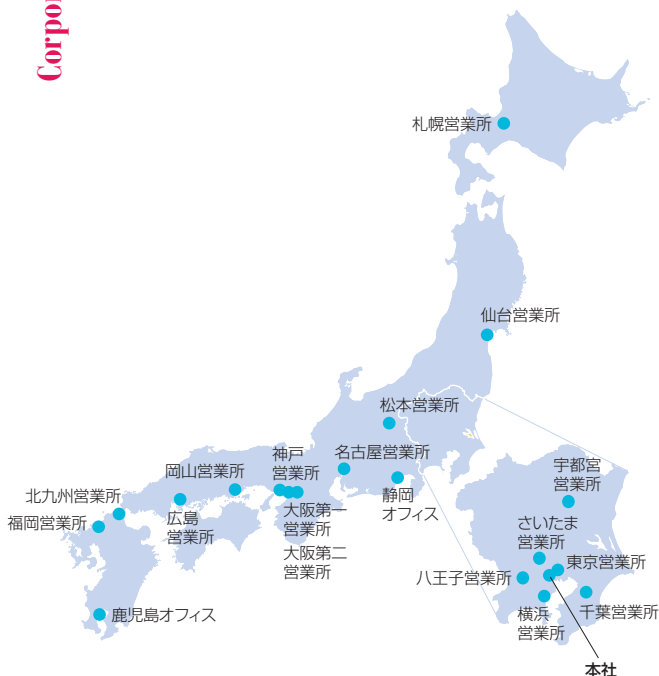


大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,180,000	33.0
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行	850,000	5.4
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.1
4 山本 正卓	386,400	2.5
5 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.4
6 梅田 美智子	362,900	2.3
7 完山 敏錫	320,000	2.0
8 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	263,900	1.7
9 翟 林瑜	208,900	1.3
10 THE BANK OF NEW YORK 133522 常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部	150,200	1.0



会社情報



会社概要

< 2015年3月31日現在 >

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル 29F TEL: 03-5308-9888 (代表) ※登記上の本店所在地は下記の通りです 東京都八王子市東町9-8
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,700,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社、クリエイティブ本部 ●全国19営業拠点※ (札幌、仙台、松本、宇都宮、東京、八王子、横浜、千葉、さいたま、静岡、名古屋、大阪第一、大阪第二、神戸、岡山、広島、福岡、北九州、鹿児島) ※2015年4月1日に松山営業所を開設し全国20営業拠点となりました。
連結子会社	(株)ランドサポート、(株)ユーアンドユー、 (株)ジュリアジャパン、(株)ジールネット、 (株)エルイーディー、(株)エンサインアド

役員一覧

< 2015年6月19日現在 >

代表取締役	CEO	山本 正卓
代表取締役	COO兼CCO	上川名 弦
取締役	CFO	高 秀一
取締役		木藤 友治
取締役		坂本 哲進
取締役(社外)		上 岳史
取締役(社外)		松崎 みさ
常勤監査役		安達 吉明
監査役		寺田 公規
監査役		東 徹
監査役		高野 健二

IR情報は当社のウェブサイトでもご覧いただけます

<http://www.gendai-a.co.jp/>

ゲンダイエージェンシー株式会社

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)

株主メモ

事業年度.....毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会.....毎年6月

基準日.....定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人.....東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務所取扱場所.....東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先).....〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-232-711

上場証券取引所.....(株)東京証券取引所JASDAQ市場

公告方法.....電子公告

ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL.....<http://www.gendai-a.co.jp/>

- (ご注意).....
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

